

令和2年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

24 山形県立米沢商業高等学校

学校教育目標	校訓「至誠」と「進取」のもと、変化する社会に柔軟に対応できる力を育むとともに、社会に有為なビジネスリーダーの育成に努める。		重点目標	① いのちをつなぐ人づくり ・いじめのない学校・教育相談の充実・危機管理
めざす学校像	② 明るく元気で生き生きとした学校 ② 生徒の個性と可能性を引き出す学校 ③ 地域社会に貢献する学校	めざす生徒像		① 心身ともに健康な生徒 ② 知性と感性を磨く生徒 ③ 自律的社会性を持つ生徒

達成度	A・・・達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

自 己 評 価						学校関係者評価	総括
番号	評価項目	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び取組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等	
1	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 各学科の特色ある教育課程を適切に運用する。 「わかる・力がつく・楽しい」授業づくりを研究し実践する。 読書の楽しさ、喜び、感動を体験できるように各部署と連携して読書指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨時休業により減少した授業時数について長期休業の短縮や行事の精選・縮小により9割以上を確保した。 ICTを活用した多彩な授業形態について研修を進め、各教科「G Suite」の活用を模索している。 朝読書週間を設定できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領について各教科研究し、理解を深める。特に評価方法については、研修会を開き、評価改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用したりモット授業等の整備を進めてほしい。 学級減・米工との統合も踏まえ、学習の在り方を研究してほしい。 	<p>○生徒アンケートではほとんどの項目で昨年の平均値よりプラス評価となっており、特に「先生方に気軽に相談できる」と環境整備に関する項目で伸び幅が大きかった。コロナ禍で色々と制約を受ける中でも、職員が生徒一人ひとりに丁寧に向き合ってきたと言える。反対に学校に来る機会が減少した保護者の評価は概ねダウンしており、一層の工夫が必要である。</p> <p>○米沢産業（仮称）開校に向けて、より一層米沢工業高校との連携が必要である。</p>
2	生活指導	<ul style="list-style-type: none"> いじめのないお互いを尊重できる人間関係を構築させる。 基本的生活習慣を確立させ、服装・マナー・言葉遣いを大切に自律できるようにする。 生徒会・部活動を奨励し、リーダーを育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケート等を活用し、個々に合わせて丁寧に組織的に対応できた。 学期の始まりと衣替のタイミングで服装指導を丁寧に行った。 コロナ禍の中でも、行事や部活動に対して生徒自ら何ができるかを考え、主体的・積極的に活動できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談や特別支援について対策を強化する。 服装・身だしなみも行事や部活動も、生徒に考えさせることを重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい生活様式」のもとでも、できる限り有意義な活動が行えるようご指導をよろしく願いたい。 自転車のマナーは改善されている。 	
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 社会状況の変化に対応できるようにし、就職希望を100%実現させる。 資格取得など商業高校の強みを生かし進学・就職試験に対応する。 公務員合格3名を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業との情報交換を密にし12月に就職希望者合格内定が100%に到達した。 上級学校や企業が求める人物像を把握し、簿記等の資格や商業科目履修の強みを生かすことができた。 講習・課題学習・模擬試験等の指導を重ね公務員合格者1名を出せた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した計画的・組織的な進路指導の確立については、進展が見られたので、今後とも1年次より在り方・生き方を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域を知り仕事を理解することが進路達成に結び付くので、今後とも地域と連携してほしい。 	

自己評価及び学校関係者評価の改善点等	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師の派遣や地元企業からの協力など学校外の教育資源を効果的に利活用し、魅力ある学校づくりに取り組まなくてはならないが、一方で「働き方改革」を進めることも必要であり、地域との協働に関しては、学校目標との整合性を見極めていかななくてはならない。 学校の教育活動について保護者の理解と協力を得られるよう、あらゆる立場で不断の努力を行っていかねばならない。
--------------------	---

